

T ONAN TO

初期臨床研修医募集案内

令和
9年度



TOMONI

これからの時代を担うキミたちへ



- 01 斗南病院 初期臨床研修プログラム
- 02 研修プログラムについて
- 03 「ココがすごい！」～充実のセミナー～
- 04 「ココがすごい！」～魅力的な協力病院・施設～
- 05 斗南病院について
そのほか研修医情報を色々掲載！



国家公務員共済組合連合会

斗南病院

01

斗南病院
初期臨床研修プログラム

【研修理念：医師である前に人間であれ】

本プログラムの根底に流れる哲学であり、研修医が立ち返るべき指針です。

当院の研修の最大の特徴は、「経験する研修から自立可能な研修へ」というパラダイムシフトにあります。

これまでの「見学した」「経験した」ことを評価する研修から、一人の医師として「診断・治療を自立して実行できる」ことを評価する研修への転換を目的とします。

そのために、私たちは以下の3つの柱を掲げます。



臨床研修管理委員長
上村 恵一(精神科)

1. 人間性の涵養：

高度急性期医療という技術の先端に立つからこそ、「医師である前に人間であること」を重視します。

患者の痛みを理解し、不安に寄り添う温かな心が、正確な診断と効果的な治療の基盤となります。

人格の磨かれていない技術は、真の医療とは呼べません。

2. 強い使命感と責任感の育成：

医師という職業が持つ社会的意義を深く認識し、自らの行動が患者の人生に直結しているという重い責任感を養います。この責任感こそが、妥協のない自己研鑽を支える原動力となります。

3. 総合的医療の実践と各科の強い連携：

当院は各専門科が高度な医療を提供していますが、その本質は「患者中心の総合的医療」です。

科の垣根を越えた強い連携を肌で感じることで、疾患だけを診るのではなく、

その人を診るという総合診療的な視点を備えた専門医、あるいは専門医レベルの知識を備えた総合診療医としての基礎を築きます。

この理念を胸に、2年間の研修を通じて、地域社会から信頼され、自立して診療にあたることのできる「優れた医療人」へと成長することを、私たちは全力でサポートします。



研修プログラムの特色

初期研修に必要なプライマリ・ケアに必要な知識、技能、資質を幅広く学ぶことができ、多職種との幅広いコミュニケーションを体験し、医療倫理、プロフェッショナリズムについて幅広い医師としての人格の涵養を育てることができるプログラムである。

臨床研修の目標の概要

専門性に囚われずプライマリ・ケアに必要な能力を身につけること。チーム医療の一員として研修することで幅広い人間性を育み、プロフェッショナリズムを身につけることを目標としている。

一般目標（GIO）

将来の専門性に関わらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（知識・技能・態度）を身につける。

また、患者を全人的に理解し、身体的、精神的、社会的な側面から統合的にアプローチできる能力を養う。



目標を達成するために、以下の学習機会と指導体制を提供する。

I. 臨床実践による学習（On-the-Job Training）

- ・ 主治医制と指導体制： 各診療科において、指導医・上級医の監督下で患者を受け持つ「主治医チーム制」を導入する。診察、検査計画、治療方針の決定、ICの同席等、一連の診療プロセスを段階的に自立して行えるよう指導する。
- ・ 外来診療研修： 2年次において、初診外来や慢性期患者の継続診療を経験する。単なる「見学」ではなく、自ら問診・診察を行い、指導医とディスカッションを経て診療を完結させるプロセスを重視する。

II. 教育的行事とシミュレーション

- ・ ハンズオンセミナー： 1年次の早期に、気道確保、静脈路確保、人工呼吸器管理等の必須手技について、シミュレーターを用いた集中講習を行う。
- ・ 定期講義・セミナー： 29症候・26疾病をテーマとした、各科専門医による臨床レクチャーを定期開催する。
- ・ 症例検討会・CPC： 自身の担当症例を提示し、プレゼンテーション能力と論理的な批判精神を養う。病理検討会（CPC）では、臨床と病理の対比から、より深い病態理解を目指す。

III. 特色ある救急研修

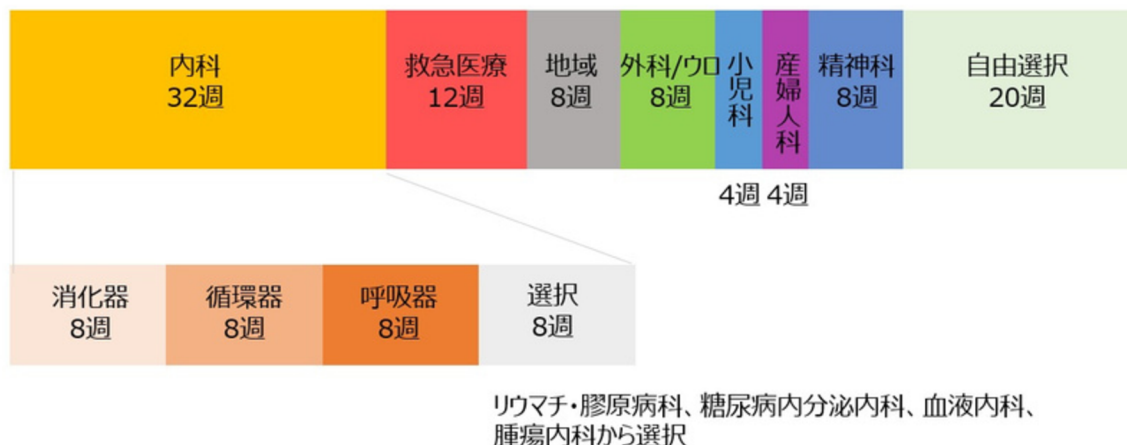
- ・ 札幌ACSネットワークとの連携： 循環器救急の最前線を経験し、急性冠症候群に対する迅速な診断・治療の流れを体得する。
- ・ 2次救急当番： 消化器、呼吸器、泌尿器等の各専門科が担う2次救急現場に参画し、多様な急性期疾患への対応力を磨く。



02

研修について

研修スケジュール例



必修科目

内科(32 週)、救急部門(12 週)、地域医療(8 週)、一般外科・泌尿器科(8 週)、小児科(4 週)、産婦人科(4 週)、精神科(8 週)を必修とする。



(1)内科

必修科目である内科の研修期間は研修管理委員会と調整のうえ、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科を8週間ずつローテーションし、リウマチ・膠原病科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腫瘍内科のうち2科を選択し4週ずつ研修する。

(2)救急部門

必修科目である救急研修は12週のうち、4週は手術室における麻酔管理を通して、救急に必要な基本手技・呼吸・循環管理の技術を身に付ける。4週は救急科で指導医と共に救急患者の診療を行うことで、救急疾患患者への対応やプレホスピタルへの理解を深める。残りの4週は夜間1次・2次当直研修を通じて実践的な救急初期対応を学ぶ。

(3)地域医療

必修科目である地域医療研修は、2年次に8週行い一般外来研修並びに在宅医療研修を併せて行う。

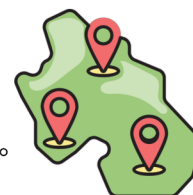
※地域医療研修は、余市協会病院、栗山赤十字病院、利尻島国保中央病院、白老国民健康保険病院のいずれかで行う。

(4)外科

必修科目である外科の研修は泌尿器科と合同で8週行う。一般外来研修を併せて行う。

(5)小児科

必修科目である小児科の研修は 4 週行う。※小児科の研修は協力型病院で行い、一般外来研修を併せて行う。



(6)産婦人科

必修科目である産婦人科の研修は 4 週行う。うち産科の研修は、協力型病院で行う。

(7)精神科

必修科目である精神科の研修は 8週行う。うち4週は当院でリエゾン医療を中心に研修し4週間は協力病院で統合失調症や双極性障害など遭遇頻度の高い精神科疾患について研修する。

(8)一般外来研修(4 週以上)

外科、小児科、地域医療研修で行う。適宜、臨床研修協力施設で1週間単位で総合内科外来研修を行う。

(9)在宅医療研修

2 年次に行う地域医療研修で行う。



自由選択科目

2 年次に、次の診療科から選択して合計 24 週研修(最大)を行う。

消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ・膠原病科、血液内科、腫瘍内科、外科、救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、脳神経外科(中村記念病院)、心臓血管外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、協力病院(北大、札幌医大)

★婦人科

札幌東豊病院

★精神科

五稜会病院

★小児科

天使病院

KKR札幌医療センター

★地域医療

余市協会病院

栗山赤十字病院

利尻島国保中央病院

白老国民健康保険病院

更別村国民健康保険診療所

さっぽろ銀杏会記念病院

白老町立国民健康保険病院



★脳神経外科

中村記念病院

★神経内科

中村記念病院

★外来研修

栄町ファミリークリニック

本輪西ファミリークリニック

向陽台ファミリークリニック

更別村国民健康保険診療所

さっぽろ銀杏会記念病院



★大学病院

北海道大学病院

札幌医科大学付属病院

旭川医科大学大学病院



★KKR病院の協力型臨床研修施設

東北公済病院

立川病院

虎の門病院

横須賀共済病院

熊本中央病院

佐世保共済病院



03

「ココがすごい！」 ～充実のセミナー！～

当院では実践に即した研修医セミナーを、年間を通じて計画的に開催しています。
研修医の要望も取り入れながら、経験すべき診察法、検査、手技等を中心に開催しています。
臨床特に必要な事柄は早い時期に設定し、研修効率を高めています。



☆4月

・お看取りの作法(その他) ・救急外来について ・BLS講習 ・CVカテーテルハンズオンセミナー ・除細動器の使い方(臨床手技) ・皮膚縫合・結紮講習(臨床手技) ・採血実習(注射・採血・静脈留置) ・人口呼吸器・医療用ポンプ(臨床手技) ・妊娠・出産(症候) ・QQセミナー ・虎の門セミナー

☆5月

・輸液の基本 ・CVカテーテルハンズオンセミナー ・発熱①(症候) ・MRI安全教育研修会 ・導尿カテーテルの入れ方(症候・臨床手技) ・造影剤について ・けが災害救急レクチャー ・インシデントレポートワークショップ ・虎の門セミナー

☆6月

・急変時対応蘇生手技研修 ・VR画像支援体験 ・脳外①(症候) ・心電図(その他) ・発熱②(症候) ・排尿障害(症候) ・検査部実習(腹部エコー) ・QQセミナー ・採血実習前レクチャー(手技) ・採血実習 ・虎の門セミナー

☆7月

・興奮・せん妄(症候) ・体重減少・るい瘦(症候) ・小児虐待(その他必須・虐待) ・呼吸困難(症候) ・認知症(疾病・病態) ・もの忘れ(症候) ・脳外②(疾病・病態) ・終末期の症候(症候) ・心臓カテーテル検査(その他) ・小児の気道管理(その他) ・PICCカテーテルセミナー(その他) ・虎の門セミナー

☆8月

・胸腔穿刺(臨床手技) ・肺炎・急性上気道炎(疾病・病態) ・スキンテアについて ・肺癌(疾病・病態) ・検査部実習(心エコー) ・DIC研修会 ・死亡診断書の書き方(その他) ・抗うつ(症候)うつ病(疾病・病態) ・虎の門セミナー

☆9月

・高エネルギー外傷・骨折(疾病・病態) ・依存症(アルコール・薬物)(疾病)
・検査部実習(心エコー) ・急変時対応蘇生手技研修 ・QQセミナー ・虎の門セミナー

☆10月

・急性腹症(症候) ・胸部単純X線写真から学ぶ解剖(その他) ・病理診断について(その他)
・インシデント報告研修 ・インフルエンザ予防接種実習前レクチャー ・QQセミナー ・虎の門セミナー

☆11月

・インフルエンザ予防接種実習(その他必修:予防医療) ・視力障害(症候) ・気管支喘息・COPD(疾患・病態) ・緩和ケア講習(その他必修:緩和ケア) ・成長・発達障害(症候) ・胃癌(疾病・病態) ・虎の門セミナー

☆12月

・緩和ケア研修会 ・胆石症(疾病・病態) ・社会復帰支援について(その他必修:社会復帰支援) ・急変時対応蘇生手技研修(その他) ・QQセミナー ・虎の門セミナー

☆1月

・大腸癌(疾病・病態) ・咯血(症候) ・めまい(症候) ・アドバンス・ケア・プランニングについて(その他必須:ACP)
・インスリンについて、脂質異常症(疾病・病態) ・感染症診療について(その他必須:感染症) ・虎の門セミナー

☆2月

・統合失調症(疾病・病態) ・腰背部痛・関節痛(症候) ・輸血クロスマッチ実習(その他)
・臨床遺伝学(その他) ・QQセミナー ・虎の門セミナー

☆3月

・輸血クロスマッチ実習(その他) ・急変時対応蘇生手技研修(その他) ※斗南病院臨床病理カンファレンス(その他)

